



川上支所女性部みその会グループは今年のみその仕込みを行ないました。グループでは平成31年から手作りみそ作りを行なっています。シンプルで余計なものを入れず国産の大豆・自然塩・米麴を使用しています。

前日準備

4月19日

よく洗った大豆を1日浸す。



当日

4月20日

一晩浸した大豆を柔らかくなるまで煮る。



茹で上がった大豆をつぶす。



潰した大豆の粗熱をとる。



粗熱のとれた大豆と米麴、天然塩をよく混ぜ合わせる。



まぜまぜ



良く混ぜたら丸める。叩きつけて空気を抜く。



混ぜ合わせる作業と丸める作業は2回ずつ行なう。



持ち帰り用の容器に入れて寝かせる。夏が過ぎたら食べられるようになります。☆熟成期間は好みで!!



動画でチェック



4月20日に野辺山支所女性部営農部主催で、静岡県伊豆の国市、世界文化遺産「韮山反射炉」の隣りにある「蔵屋鳴沢」にてお茶摘みを体験しました。「蔵屋鳴沢」は、昭和29年からお茶作りを行なう歴史ある茶畑です。

参加者した女性部員は、かすりの着物と手ぬぐいを着け、お茶摘み娘に大変身！一面に広がる茶畑に入り、新茶摘みを楽しみました。摘んだ一番茶葉は、てんぷらやお茶にしておいしくいただきました。



5月12日、南相木小学校にてふるさと農業体験が開かれ、地域ボランティア団体や女性部員が参加しました。全学年の児童を対象に、畑作りから始まり、水やりや草取りなど管理を行ないながら収穫し、育てた野菜をみんなで食べる活動で毎年行なわれています。

当日は、学年ごとに分かれ、声をかけ合い、協力しながらマルチ張りや種まき、野菜の苗植えを行ないました。また、さつまいもの苗を守るために、雑草や藁を利用した「草マルチ」を学び、実践している姿も見られました。

児童からは「水やりを頑張り、たくさん収穫したい」「とれた野菜をたくさん食べたい」などの感想が聞かれました。

南相木支所は「一支所一運動」として花の苗配布を行なっています。5月8日、南相木支所営農センターにて種まきが行なわれ、南相木支所女性部役員と支所職員が参加しました。アンゲロニア・百日草・マツパボタン・千日紅の種が準備され、女性部員は真剣な様子で一粒ずつ手蒔きました。6月上旬ごろ配布を予定しており、今年も色とりどりの花を村内で見かけることができそうです。

